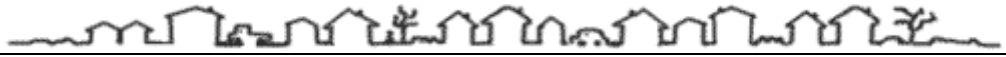


地域別構想編

第6章 地域区分

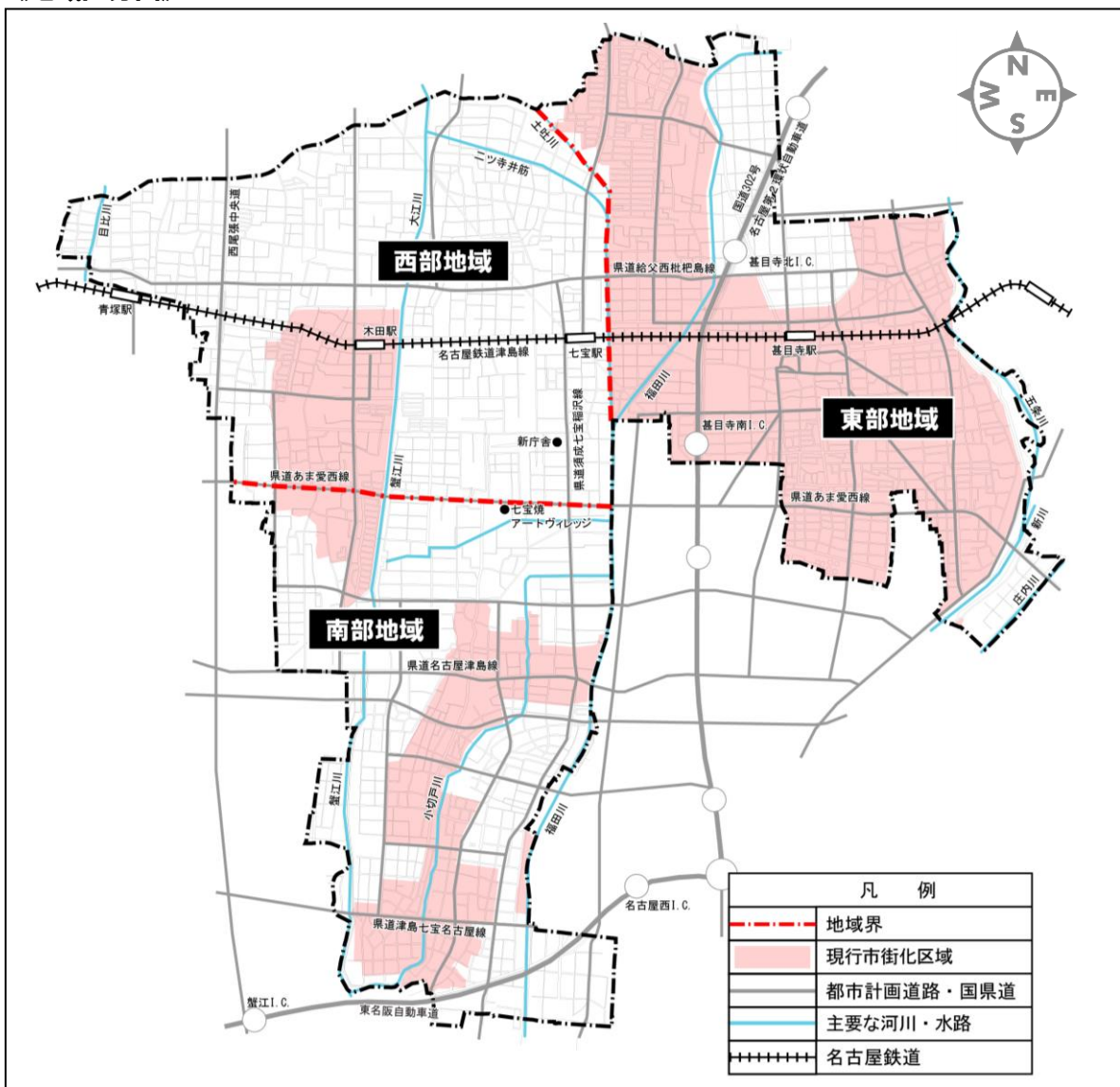


6-1 地域区分の考え方

地域別構想としての地域区分は、「街なか居住拠点（鉄道駅周辺等）を中心とした地域のまとまり」を重視したなかで、以下の3地域とします。

なお、3地域の境界線については、地形分断要素（幹線道路・河川）により設定しましたが、これらはいくまで一つの目安であり、厳密性を持ったものではありません。

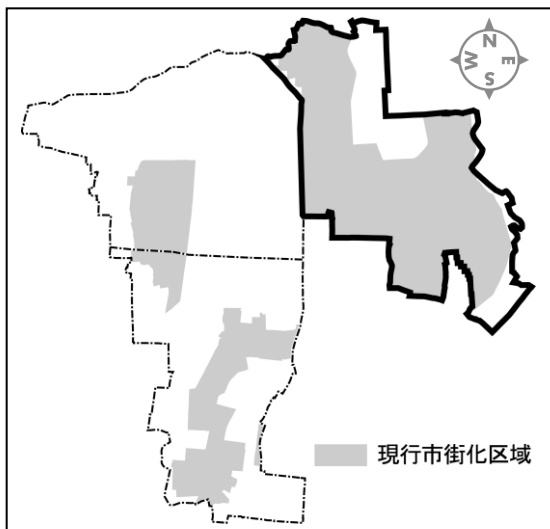
《地域区分図》



第7章 東部地域の地域づくり構想



7-1 地域の概況



区 分	面積 (ha)	H27 人口 (人)
地域全体	939	40,825
市街化区域	740	40,626
市街化調整区域	199	199

資料：平成 27 年国勢調査等

東部地域を構成する区
甚目寺、本郷、坂牧、下萱津、中萱津、上萱津、栄、西今宿、森（一部）、方領、石作、小路、新居屋、古道（一部）

《地域の現状》

- 名古屋鉄道津島線が地域を横断し、甚目寺駅が位置しています。道路網は、南北方向として国道 302 号等が、東西方向として県道あま愛西線等が骨格を形成しています。国道 302 号の上には名古屋第 2 環状自動車道が通っており、地域には 2 つの IC が位置しています。
- 国指定文化財がある甚目寺観音や、漬物の神社として全国に知られる萱津神社をはじめ、数多くの社寺が位置しており、甚目寺観音の祭事は多くの参拝客で賑わっています。歴史的な街道も 2 本通っており、旧鎌倉街道では、松並木など、昔の面影が残っています。
- 甚目寺観音を中心として近代以前から門前町が形成され、高度経済成長期以降は、その地理的優位性から名古屋市ベッドタウンとして急速に発展した経緯があります。
- 地域の広範囲にわたって市街地が形成されており、人口密度も他地域に比べて高くなっています。県道あま愛西線等の幹線道路沿道では、ロードサイド型の商業施設が多く立地しており、一団の工業集積も各地で見られます。
- 甚目寺駅周辺は、公共施設も多く位置して地域の中心地となっており、近年は、駅前広場や駅へのアクセス道路等の都市基盤の整備も重点的に進められています。
- 五条川、新川、庄内川、福田川、萱津井筋等の河川・水路が流れ、地域に潤いを与えています。

- 都市計画施設としては、都市計画道路が15路線あり、そのうち3路線が全区間改良済となっています。都市計画公園は17箇所あり、すべて整備済となっています。公共下水道については、市街地の一部（中南部）で整備済となっています。

《地域住民の意向》

[現在のまちづくりについて]

不満度 上位5つ	
1	鉄道やバスなどの公共交通機関
2	下水道・排水路の整備
3	商店街の活性化などの商業の振興
4	公園・緑地の整備
5	企業誘致などの産業の振興

[今後のまちづくりについて]

重要度 上位5つ	
1	地震や水害などの防災対策
2	下水道・排水路の整備
3	鉄道やバスなどの公共交通機関
4	交通安全・防犯などの安全対策
5	介護サービスや生きがいづくりなどの高齢者福祉

資料：H28 住民意向調査による問10・問11の結果
注：甚目寺地区居住者の回答結果

《地域づくりの主要課題》

- 甚目寺駅へのアクセス利便性の向上
- 市街地を縦貫する(都)西今宿東条線など、地域の日常生活等を支える都市計画道路の整備
- 甚目寺駅周辺の交通便利性を活かした土地利用の促進（地域の中心地としての機能強化）
- 駅周辺から離れた地域の生活利便性等に配慮した、都市計画道路沿道での土地利用の促進
- 産業環境とも調和した良好な住環境の保全
- 方領石作地区等に広がる低未利用地を活かした新たな住宅地の形成
- 市街地内を流れる福田川等の環境の保全・向上
- 甚目寺観音、萱津神社等の一帯の歴史的環境・景観の保全と、観光資源としての活用
- 地域住民の安全や交流を支える環境（歩行環境、公園等）の充実
- 下水道の整備

7-2 地域づくり構想

1. 地域づくりの目標

人と人との交流による、利便性の高い快適な住環境のまちづくり

《基本方向》

- 甚目寺駅周辺を中心とした利便性の高い住環境の形成
- 駅や IC へのアクセス道路など、地域の骨格を成す交通軸の充実
- 地域資源（甚目寺観音、庄内川、旧街道等）を活かした多様な交流空間の形成



甚目寺駅周辺



商店街（東門前）



市民病院



甚目寺観音



(都) 名古屋環状2号線(国道302号)踏切部

2. 期間前半の地域づくりの評価と後半の地域づくりの重点

中間見直しにおける期間前半の地域づくりの評価と後半の地域づくりの重点を以下に整理します。

東部地域づくりの目標「人と人の交流による、利便性の高い快適な住環境のまちづくり」に向けて、甚目寺駅北口駅前広場の整備など期間前半に取り組んできた施策の実施効果により、「街なか居住拠点」を中心に、順調に人口が増加しており、都市機能の維持のための人口密度が保たれています。

- 東部地域については、道路交通の要衝として、周辺地域から交通が集中し、人・モノの交流が拡大するなど活力が創出されている一方で、主要な交差点では、交通渋滞が発生し、その解消が大きな課題となっています。
- 歴史ある甚目寺観音や門前町などの観光資源を活かして、更なる地域のにぎわい活力の創出につなげるため、甚目寺駅の利便性向上や空き家（店舗）の利活用など、計画的な土地利用等を一層推進するとともに、防災上の観点から密集市街地における狭あい道路の解消を図る必要があります。

3. 地域づくりの方針

地域づくりの目標の実現に向け、次のような地域の構造（土地利用、道路・交通、拠点）づくりと、重点施策に取り組みます。

《地域構造 （土地利用）》

①市街地での計画的な土地利用

地域北部等を除く地域全域を市街地として位置づけます。市街地では、甚目寺駅周辺や幹線道路沿道を中心に商・工業系の土地利用を展開しながら、住宅地としての良好な環境の保全・充実を図ります。また、空き家の利活用等を推進し、土地利用の流動化を図ります。

●駅前商業地・・・甚目寺駅周辺

生活利便施設が集積する商業地としての利用を基本としながら、集合住宅等の立地や各種機能の複合化にも対応するなど、駅前の利便性を活かした有効な土地利用を図ります。

●住商共存地・・・(都)給父西枇杷島東線・県道給父西枇杷島線、 (都)西今宿東条線の沿道

集合住宅を含む多様な住宅と、周辺居住者の日常生活を支える利便施設が共存する土地利用を図ります。

●沿道複合利用地・・・(都)名古屋環状2号線の沿道 (都)甚目寺佐織線の沿道

車利用に対応したロードサイド型の商業施設や、流通・業務施設等が立地する非住居系を基本とした土地利用を図ります。

●工業地・・・工業系市街化区域を中心とした地区（4箇所）

周辺の住宅地等との調和にも留意しながら、工場、流通・業務施設等による専用性の高い工業地としての土地利用を図ります。地域東部等の住工混在地区では、共存環境の形成に努めます。

●住宅地・・・住居系市街化区域を中心とした地区（上記以外）

戸建てによる低層、低中層の住宅地としての利用を基本としながら、身近な商業施設や教育施設、福祉施設等の生活利便施設も必要に応じて立地する土地利用を図ります。

※甚目寺南小学校等の教育施設周辺や、低層住居専用地域の指定地区では、用途の混在を抑制し、落ち着いた雰囲気の良い住環境、教育環境の保全を図ります。

※(都)新居屋上萱津線等の幹線道路の沿道では、住宅を主とし

ながら、小規模店舗等が必要に応じて立地する土地利用を図ります。

●街なか居住拠点…甚目寺駅周辺（鉄道駅の徒歩圏を基本）

中高層を含む集合住宅の立地や、生活利便施設の一層の集積を誘導するなど、より多くの人々が高度で多様な都市サービスを享受でき、また、歩いて暮らせるまちづくりにも寄与する土地利用を図ります。

②市街地外での計画的な土地利用

地域北部等の市街地外では、良好な営農環境の保全を図りながら、交通利便性の高い場所を有効に活かした土地利用を進めます。

●産業誘導候補地…甚目寺北 IC 周辺

工場や流通・業務施設の新規集積の誘導を検討します。

●産業誘導ゾーン…(都)名古屋環状2号線の沿道

市街化調整区域としての性格や円滑な交通流動に及ぼす影響等を十分考慮しながら、工場や流通・業務施設の立地の計画的で適正な誘導を図ります。なお、この誘導にあたっては、優良な農地等の保全に配慮するとともに、開発基盤が整った箇所等に限るものとします。

●農地…農振農用地区域を中心とした地区

農業生産や治水、景観等を支える農地の保全を図ります。

●集落地…既存集落を中心とした地区

地域北部の住宅団地では、低層で整然とした良好な住環境を保全します。

●自然環境・レクリエーション地…庄内川・新川・五条川、福田川、土吐川周辺 ※一部、市街地内

貴重な緑地空間として保全を図るとともに、地域住民の憩いや、環境教育、健康増進等に寄与する場として有効活用を図ります。

《地域構造
（道路・交通）》

①幹線道路等の整備

都市圏・市の骨格を成す幹線道路や、これに接続する地域のための幹線道路の整備を図り、街なか居住拠点（甚目寺駅周辺）や防災・活力連携拠点等にアクセスしやすい利便性の高い道路網を形成します。

また、甚目寺駅から甚目寺観音や萱津神社等の観光スポット、市民病院など、市内各所へのアクセス性の向上を図るとともに、名二環 4 車線化に向けた検討を加速させ、高速バスを利用したりニア中央新幹線利用者の呼び込みや市内道路混雑の解消を図ります。

これらの幹線道路に囲まれた区域においては、生活道路の整備を進めるとともに、高齢化の進展等を見据えた移動手段の確保の検討を進め、地域住民の誰もが生活活動において困ることのないような交通環境の整備を進めます。

●都市圏・市の骨格を成す幹線道路〔主要幹線道路、都市幹線道路〕

(都)名古屋環状 2 号線、(都)甚目寺佐織線、(都)給父西枇杷島東線・県道給父西枇杷島線、(都)西今宿下萱津線の一部、(都)下萱津北間島線・県道名古屋中環状線

●市街地または地域の骨格を成す幹線道路〔地区幹線道路等〕

(都)甚目寺駅前線、(都)名古屋甚目寺線、(都)五条高校線、(都)西今宿東条線、(都)西今宿下萱津線の一部、(都)新居屋上萱津線、(都)甚目寺三本木線、(都)森上萱津線、(都)石作上条線、県道給父西枇杷島、県道須成七宝稻沢線・県道給父清須線

●主要な生活道路

上記以外の県道、1 級市道、その他主要な市道

②歩行者ネットワークの形成

都市計画道路や河川・水路の整備等とも連携しながら、歩行空間の充実を図り、安全・快適な歩行者ネットワークを形成します。

●主要な歩行者ネットワーク

- ・甚目寺観音、萱津神社等の歴史・文化的資源間を結ぶネットワーク（旧津島街道、旧鎌倉街道の活用）
- ・甚目寺駅と駅北部の公共施設集積地を結ぶネットワーク
- ・市街地内を流れる福田川、萱津用水沿いのネットワーク
- ・尾張水道みち
- ・その他（甚目寺駅とその徒歩圏・自転車圏を結ぶネットワーク、通学路ネットワーク 等）

《地域構造(拠点)》

①都市拠点の形成

都市拠点については、地域の日常生活等を支える中心的な場と

して活用を図るべく、全体構想編に基づき、機能充実を図ります。

- [街なか居住拠点] …… 甚目寺駅周辺
- [地域サービス拠点] …… 市民病院・甚目寺総合福祉会館・甚目寺公民館・甚目寺総合体育館
一帯
- [緑の拠点] …… 新川・庄内川河川敷一帯・森ヶ丘公園・福田川沿いの公園（森地区）
- [歴史・文化拠点] …… 甚目寺観音一帯、萱津神社一帯

②地域の暮らしに密着した拠点の形成

地域の暮らしに密着した身近な拠点の充実を図り、都市拠点と連携して、日常生活の利便性向上等に努めます。

●身近な生活拠点

地域北西部、西部及び南部の幹線道路交差部一帯では、その交通利便性をもとに商業集積等を誘導し、身近な生活拠点として育成します。

●身近な交流拠点

教育施設の開放や、公民館等の環境改善、公園や社寺のオープンスペースの活用等により、身近な交流拠点を育成していきます。

[教育施設] …… 4つの小学校（甚目寺東小学校 等）、2つの中学校（甚目寺中学校 等）、1つの高等学校（五条高等学校）

[公民館等] …… 10の公民館・集会所（栄北集会所 等）、1つの生涯学習施設（甚目寺歴史民俗資料館）、6つのコミュニティセンター・防災センター（コミュニティプラザ萱津 等）

[公園等] …… 25の都市公園（本郷1号公園 等）、19のちびっ子広場（甚目寺第1ちびっ子広場 等）、5つの体育施設（甚目寺テニスコート 等）

[社寺] …… 52の社寺（大徳院 等）

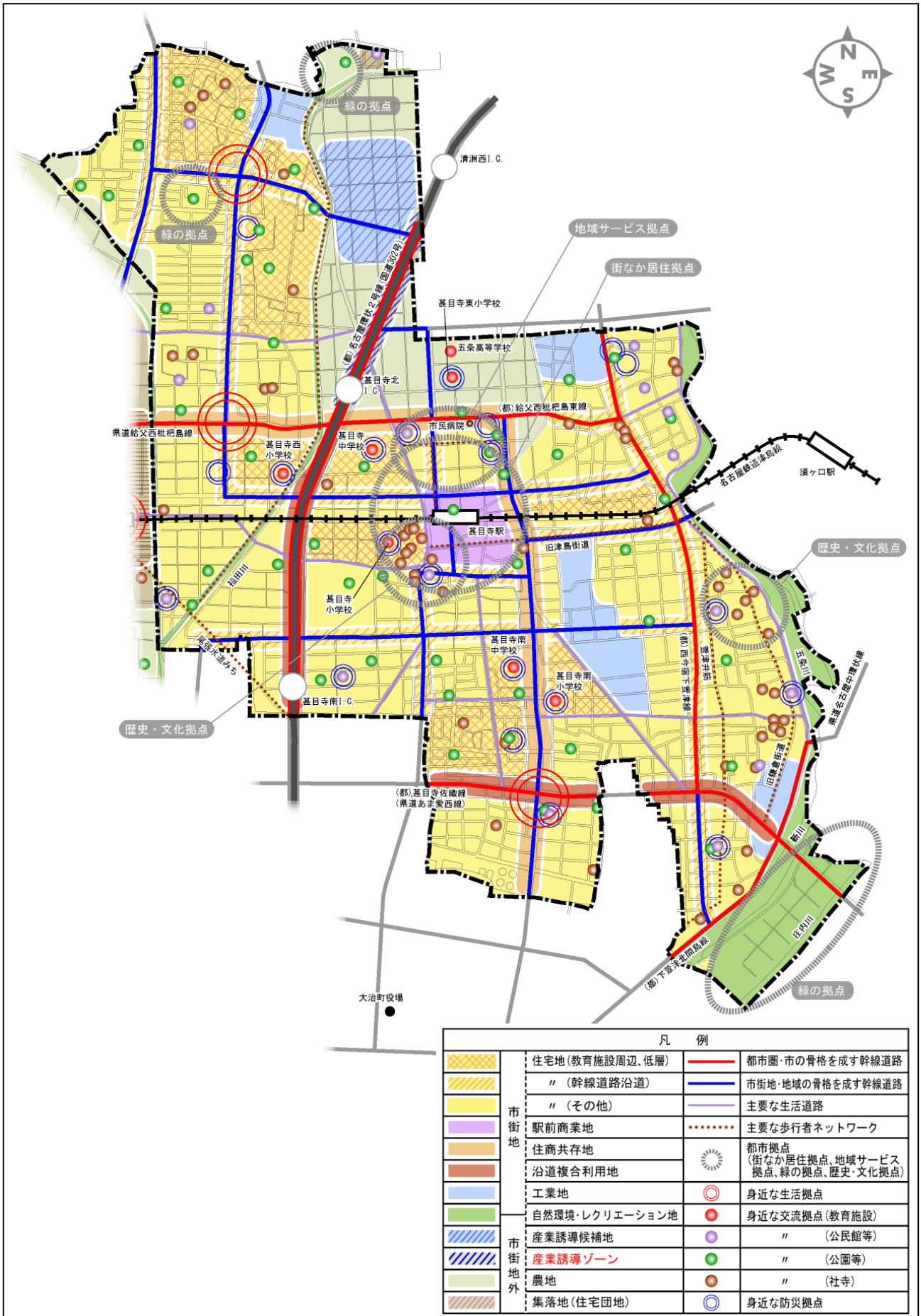
●身近な防災拠点

避難場所として指定されている17の施設（甚目寺総合福祉会館、下萱津コミュニティ防災センター 等）や、その周辺の防災性を強化し、身近な防災拠点として活用を進めます。

●その他（防災）

大規模地震に備えた密集市街地等における狭あい道路の拡幅整備を進めます。

《地域構造図》



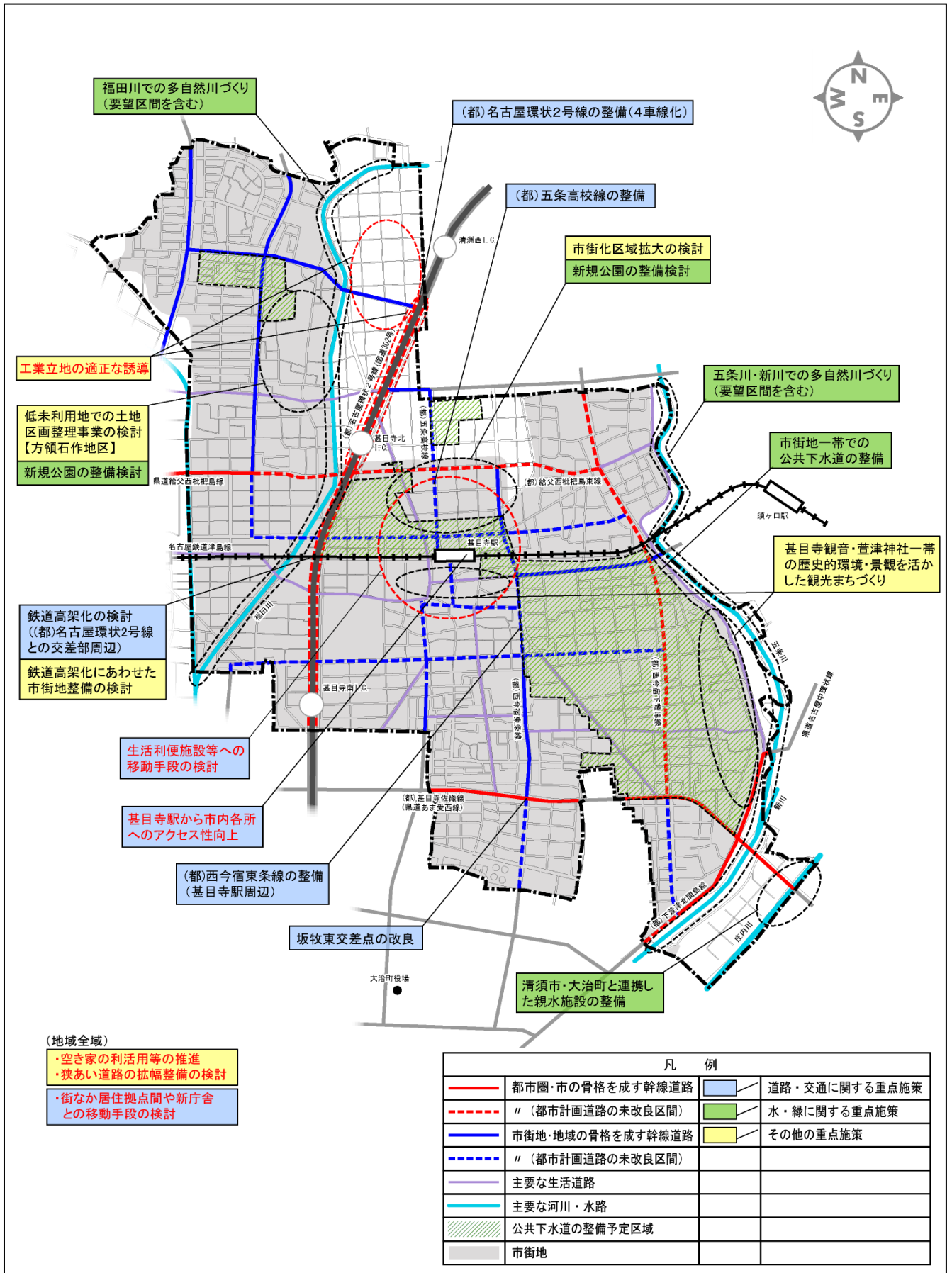
《重点施策》

今後、本地域では、地域の日常生活の利便性・快適性向上に大きく寄与するものを推進します。その考え方において、今後実施を予定する重点施策を以下に整理します。

施策分野	重点施策	内容
道路・交通	(都)名古屋環状2号線の整備	・名古屋都市圏の主要都市へのアクセス利便性の向上や、自動車専用道路(名古屋第2環状自動車道)の利便性の向上を図るため、4車線化に向けた検討を加速させます。
	(都)西今宿東条線の整備	・甚目寺駅へのアクセス利便性の向上や、市街地の骨格の形成を図るため、特に、甚目寺駅周辺の未改良区間の整備を促進します。
	(都)五条高校線の整備	・甚目寺駅と地域サービス拠点を構成する各種公共施設との連携強化や、五条高校の安全な通学路の形成を図るため、自動車だけでなく、歩行者・自転車の利用にも留意して未改良区間の整備を推進します。
	坂牧東交差点の改良	・(都)甚目寺佐織線の渋滞解消や近隣市町へのアクセス利便性の向上を図るため、坂牧交差点の改良を促進します。
	鉄道高架化の検討	・名古屋鉄道津島線では、踏切による慢性的な渋滞の解消や事故防止を図るため、(都)名古屋環状2号線との交差部を中心に、高架の検討を加速させます。
	甚目寺駅から市内各所へのアクセス性向上	・甚目寺駅の更なる利便性向上とともに、市内各所へのアクセス性の向上を検討します。
	生活利便施設等への移動手段の検討	・高齢化の進展等を見据えて、甚目寺駅周辺の生活利便施設等への移動手段の確保を検討します。
	街なか居住拠点間や新庁舎との移動手段の検討	・街なか居住拠点間の移動や新庁舎へのアクセスを支えるために、地域需要や地域特性に応じた適切な交通体系・手段を検討します。
水・緑	市街地一帯での公共下水道の整備	・五条川等の公共用水域の水質保全や、居住環境の改善を図るため、市街地を中心に、公共下水道の整備を推進します。
	清須市・大治町と連携した親水空間づくり	・庄内川では、潤いのある水辺環境の創出や上下流域の交流促進、適正な河川管理を図るため、清須市・大治町と連携して親水施設の整備を推進します。

施策分野	重点施策	内容
	福田川、五条川・新川での多自然川づくり	<ul style="list-style-type: none"> 福田川や五条川・新川で、河川改修を予定する区間では、自然環境の保全・復元に配慮した多自然川づくりを促進します。 市街地環境の向上を図るため、河川改修を予定しない区間についても、県に要望していきます。
	新規公園の整備検討	<ul style="list-style-type: none"> 甚目寺駅北部では、街なか居住拠点・地域サービス拠点としての機能を強化し、地域の防災性も高めるため、市街化区域編入にあわせた新規公園の整備を検討します。 方領石作地区では、緑のある快適な住宅地の形成を図るため、土地区画整理事業にあわせた新規公園の整備を検討します。
その他	市街化区域拡大の検討	<ul style="list-style-type: none"> 甚目寺駅北部では、駅周辺の土地の有効利用を図り、街なか居住拠点としての機能を強化するため、市街化区域への編入を検討します。
	低未利用地での土地区画整理事業の検討	<ul style="list-style-type: none"> 方領石作地区では、道路等の都市基盤が未熟なまま宅地化が進むことを防止し、良好な住宅地の形成を図るため、土地区画整理事業による地区整備を検討します。 地区整備にあたっては、(都)名古屋環状2号線へのアクセス道路の確保にも留意します。
	鉄道高架化にあわせた市街地整備の検討	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋鉄道津島線の沿線市街地では、鉄道高架化に関する検討を加速させ、当該事業と連動した市街地整備について検討を行います。
	甚目寺観音・萱津神社一帯の歴史的環境・景観を活かした観光まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 個々の歴史・文化的資源や、これらを結ぶ軸(旧街道等)、人的資源(地域住民、NPO等)を活かしながら、保存・修景・情報発信等の取り組みを点から線、線から面に展開し、じっくり楽しく巡ることのできる環境を創出します。
	工業立地の適正な誘導	<ul style="list-style-type: none"> 既存の産業誘導候補地(方領)への集積や産業誘導ゾーンへの工業立地の適正な誘導を検討します。
	狭あい道路の拡幅整備の検討	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震に伴う建物倒壊等による避難経路の閉塞が懸念されることから、狭あい道路の拡幅整備を検討します。
	空き家の利活用等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の利活用等を推進し、土地利用の流動化を図ります。

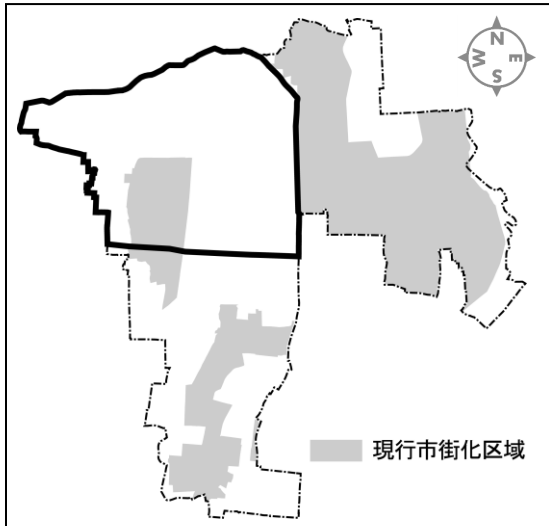
《重要施策図》



第8章 西部地域の地域づくり構想



8-1 地域の概況



区分	面積 (ha)	H27 人口 (人)
地域全体	973	22,662
市街化区域	134	9,274
市街化調整区域	839	13,388

資料：平成 27 年国勢調査等

西部地域を構成する区
二ツ寺、東溝口、花正、花長、木折、富塚、古道（一部）、金岩、木田、森山、中橋、丹波、蜂須賀、篠田（一部）、北苅、七宝町沖之島（一部）、七宝町遠島（一部）、森（一部）

《地域の現状》

- 名古屋鉄道津島線が地域を横断し、木田駅(駅前広場整備済)と七宝駅が位置しています。近隣に青塚駅(津島市内)も位置しています。道路網は、南北方向として西尾張中央道等が、東西方向として県道あま愛西線や県道給父西枇杷島線等が骨格を形成しています。
- 恵まれた地勢のもと農業を中心に発展してきた地域です。現在も、地域の広範囲で優良農地が広がり、ネギ等の農業生産が活発に行われています。
- 蜂須賀小六や福島正則等の多くの戦国武将を輩出した地域として知られ、蓮華寺や法蔵寺等の武将ゆかりの社寺・史跡が多く位置しています。蓮華寺の祭事は多くの人で賑わっており、寺叢は自然環境としての価値も優れたものがあります。
- 木田駅を中心とした地域西部一帯で市街地が形成されています。木田駅北部では、多くの公共施設が位置しています。駅南部を中心として、近年、駅前広場や駅へのアクセス道路等の都市基盤の整備が重点的に行われています。
- 大江川・蟹江川、目比川、二ツ寺井筋等の河川・水路が流れています。二ツ寺親水公園など、一部で親水空間も整備され、地域に潤いを与えています。
- 都市計画施設としては、都市計画道路が 8 路線あり、そのうち 1 路線が全区間改良済となっています。都市計画公園は 2 箇所あり、ともに整備済となっています。公共下水道については、市街地の一部(中南部)で整備済となっています。

《地域住民の意向》

[現在のまちづくりについて]

不満度 上位5つ	
1	商店街の活性化などの商業の振興
2	下水道・排水路の整備
3	企業誘致などの産業の振興
4	生活道路の整備
5	計画的な土地利用

[今後のまちづくりについて]

重要度 上位5つ	
1	地震や水害などの防災対策
2	下水道・排水路の整備
3	介護サービスや生きがいづくりなどの高齢者福祉
4	商店街の活性化などの商業の振興
5	企業誘致などの産業の振興

資料：H28 住民意向調査による問10・問11の結果

注：美和地区居住者の回答結果

《地域づくりの主要課題》

- (都)七宝蟹江線等の整備による、木田駅・七宝駅へのアクセス利便性の向上
- 市街地を横断する(都)北苅木田線など、地域の日常生活等を支える都市計画道路の整備
- 駅周辺や都市計画道路沿道での日常生活等を支える土地利用の促進（特に、木田駅周辺では、地域の中心地として機能強化）
- 七宝駅周辺における、種々の優位性を活かした計画的なまちづくり
- 木田郷南地区等に広がる低未利用地を活かした新たな住宅地の形成
- 市街地に近接して流れる大江川・蟹江川等の環境の保全・向上
- 地域の基調となっている都市近郊農村の環境（優良農地、集落地、寺叢等）の保全
- 蓮華寺など、地域の歴史・文化的資源の保全と、まちづくりへの活用
- 地域住民の安全や交流を支える環境（歩行環境、公園等）の充実
- 下水道の整備

8-2 地域づくり構想

1. 地域づくりの目標

花とみどりに満ちた、心豊かな自然と歴史に囲まれたまちづくり

《基本方向》

- 営農環境と調和した美しく活力ある地域の形成
- 木田駅・七宝駅を中心とした利便性の高い住環境の形成
- 地域資源（蓮華寺、菊泉院、蟹江川等）を活かした多様な交流空間の形成



都市近郊農地（沖之島）



ガーデンプリッジ（蟹江川）



木田駅前広場



蓮華寺



七宝駅

2. 期間前半の地域づくりの評価と後半の地域づくりの重点

中間見直しにおける期間前半の地域づくりの評価と後半の地域づくりの重点を以下に整理します。

西部地域づくりの基本方向である「木田駅・七宝駅を中心とした利便性の高い住環境の形成」に向けて、木田駅前線の整備など、期間前半に取り組んできた施策の実施効果により、「街なか居住拠点」を中心に市街化区域内人口が増加傾向を示しており、都市機能の維持のための人口密度が保たれています。

- 鉄道駅（七宝駅・木田駅等）による高齢者カバー率は低い状況で、今後も高齢化が進展することから、駅アクセス性の向上や駅周辺への宅地集積の誘導が課題となっています。
- 七宝駅周辺では、鉄道駅・道路の交通環境や生活サービス施設等の集積に支えられて、集落の形成や宅地開発が進んでいます。今後は、土地利用の計画的な規制・誘導を進め、居住環境の維持・向上による人口の定着や既存コミュニティの維持等とともに交通アクセス環境の整備、向上を図っていく必要があります。
- 木田駅周辺の街なか居住拠点においては、にぎわい活力の創出のため、空き家（店舗）の利活用など、土地利用の流動化を図ることが特に重要となっています。また、市街地の狭あい道路の解消や浸水被害軽減のための地下式調整池整備等を推進する必要があります。

3. 地域づくりの方針

地域づくりの目標の実現に向け、次のような地域の構造（土地利用、道路・交通、拠点）づくりと、重点施策に取り組みます。

《地域構造 （土地利用）》

①市街地での計画的な土地利用

木田駅を中心とした地域西部一帯を市街地として位置づけます。市街地では、駅周辺や幹線道路沿道を中心に商・工業系の土地利用を展開しながら、住宅地としての良好な環境の保全・充実を図ります。また、空き家の利活用等を推進し、土地利用の流動化を図ります。

●駅前商業地・・・木田駅周辺

生活利便施設が集積する商業地としての利用を基本としながら、集合住宅等の立地や各種機能の複合化にも対応するなど、駅前の利便性を活かした有効な土地利用を図ります。

●住商共存地・・・(都)花正下田線の沿道

集合住宅を含む多様な住宅と、周辺居住者の日常生活を支える利便施設が共存する土地利用を図ります。

●沿道複合利用地・・・(都)甚目寺佐織線の沿道

車利用に対応したロードサイド型の商業施設や、流通・業務施設等が立地する非住居系を基本とした土地利用を図ります。

●住宅地・・・住居系市街化区域を中心とした地区（上記以外）

戸建てによる低層、低中層の住宅地としての利用を基本としながら、身近な商業施設や教育施設、福祉施設等の生活利便施設も必要に応じて立地する土地利用を図ります。

※美和小学校等の教育施設周辺では、用途の混在を抑制し、落ち着いた雰囲気の良い住環境、教育環境の保全を図ります。

※(都)美和大治線等の幹線道路の沿道では、住宅を主としながら小規模店舗等が必要に応じて立地する土地利用を図ります。

●街なか居住拠点・・・木田駅周辺（鉄道駅の徒歩圏を基本）

中高層を含む集合住宅の立地や、生活利便施設の一層の集積を誘導するなど、より多くの人々が高度で多様な都市サービスを楽しみ、また、歩いて暮らせるまちづくりにも寄与する土地利用を図

ります。

②市街地外での計画的な土地利用

市街地外では、良好な営農環境や住環境の保全を図りながら、交通利便性の高い場所を有効に活かした土地利用を進めます。

●防災・活力連携拠点・・・新庁舎及び七宝駅周辺

行政機能、防災機能、交流機能を集積させ、市域全体の安全安心と地域活力の創造を支えるとともに、居住環境の向上による住みやすい地域づくりを進めます。

●居住環境維持・向上地・・・新庁舎及び七宝駅周辺

市街化調整区域及び集落地としての性質を大きく変えない範囲で、既存ストック（鉄道駅、道路網、生活サービス施設等）を活用した基盤施設の整備の推進とともに、庁舎整備や開発の適正な規制、誘導により、ゆとりある良好な居住環境の維持・向上を図ります。また、今後の基盤施設の計画水準や居住の集積状況に応じて、土地利用区分のあり方について検討します。

●既存工業地・産業誘導候補地・・・(都)西尾張中央道と(都)給父西枇杷島線の交差部一帯、(都)甚目寺佐織線の沿道

(都)甚目寺佐織線沿道に位置する既存工業地では、周辺環境と調和した土地利用を図ります。(都)西尾張中央道と(都)給父西枇杷島線の交差部一帯では、工場や流通・業務施設の新規集積の誘導を検討します。

●産業誘導ゾーン・・・(都)西尾張中央道の沿道 (都)甚目寺佐織線の沿道

市街化調整区域としての性格や円滑な交通流動に及ぼす影響等を十分考慮しながら、工場や流通・業務施設の立地の計画的で適正な誘導を図ります。なお、この誘導にあたっては、優良な農地等の保全に配慮するとともに、開発基盤が整った箇所等に限りものとします。

●農地・・・農振農用地区域を中心とした地区

農業生産や治水、景観等を支える農地の保全を図ります。

●集落地・・・既存集落を中心とした地区

周辺農地との調和にも留意しながら、低層を基本とした良好な住環境を保全する土地利用を図ります。

※住宅団地（古道住宅 等）では、整然とした良好な住環境を保全します。

※その他の旧集落では、農地や社寺（菊泉院、法蔵寺 等）と一体となり景観的にも優れた良好な住環境を保全します。

- 駅周辺、主要な幹線道路沿道等・・・青塚駅周辺、
（都）給父西枇杷島線等の沿道
駅周辺では、市街化調整区域としての性格を十分考慮しながら、地域の実情に応じ、既存コミュニティの維持や安全・安心で活力ある暮らしの形成に必要な場合において、適切な土地利用を検討します。
幹線道路の沿道周辺では、市街化調整区域としての性格を十分考慮しながら、必要に応じて、工場や流通・業務施設、生活利便施設等が立地する土地利用を検討します。
- 自然環境・レクリエーション地・・・大江川・蟹江川・福田川・目比川・ニツ寺井筋・土吐川周辺
貴重な緑地空間として保全を図るとともに、地域住民の憩いや、環境教育、健康増進等に寄与する場として有効活用を図ります。

《地域構造 （道路・交通）》

① 幹線道路等の整備

都市圏・市の骨格を成す幹線道路や、これに接続する地域のための幹線道路の整備を図り、街なか居住拠点（木田駅周辺）や防災・活力連携拠点等にアクセスしやすい利便性の高い道路網を形成します。

また、木田駅や七宝駅から蓮華寺、七宝焼アートヴィレッジ、おまつの方生誕の地等の観光スポットなど、市内各所へのアクセス性の向上を図ります。

これらの幹線道路に囲まれた区域においては、生活道路の整備を進めるとともに、高齢化の進展等を見据えた移動手段の確保の検討を進め、地域住民の誰もが生活活動において困ることのないような交通環境の整備を進めます。

- 都市圏・市の骨格を成す幹線道路〔主要幹線道路、都市幹線道路〕
（都）甚目寺佐織線、（都）西尾張中央道、（都）給父西枇杷島線・県道給父西枇杷島線、（都）七宝蟹江線

●市街地または地域の骨格を成す幹線道路 [地区幹線道路等]

(都)花正下田線、(都)稲沢七宝線、(都)木田駅前線、(都)北苅木田線、(都)美和大治線、県道須成七宝稲沢線、県道蜂須賀白浜線

●主要な生活道路

上記以外の県道、1級市道及びその他主要な市道

②歩行者ネットワークの形成

都市計画道路や河川・水路の整備等とも連携しながら、歩行空間の充実を図り、安全・快適な歩行者ネットワークを形成します。

●主要な歩行者ネットワーク

- ・七宝駅と七宝焼アートヴィレッジを結ぶ親水性のあるネットワーク
- ・木田駅と駅北部の公共施設集積地を結ぶネットワーク
- ・市街地に近接する蟹江川・大江川沿いのネットワーク
- ・蓮華寺、法蔵寺、美和歴史民俗資料館、美和図書館等を結ぶ文化的な道としてのネットワーク
- ・尾張水道みち
- ・その他（木田駅・七宝駅・青塚駅とそれらの徒歩圏・自転車圏を結ぶネットワーク、通学路ネットワーク等）

《地域構造(拠点)》 ①都市拠点の形成

都市拠点については、地域の日常生活等を支える中心的な場として活用を図るべく、全体構想編に基づき、機能充実を図ります。

- | | |
|----------------|--|
| [街なか居住拠点] …… | 木田駅周辺 |
| [防災・活力連携拠点] …… | 新庁舎及び七宝駅周辺 |
| [地域サービス拠点] …… | 美和図書館・シルバー人材センター・美和公民館・美和歴史民俗資料館一帯、海部東部消防署一帯 |
| [緑の拠点] …… | 蓮華寺寺叢、二ツ寺親水公園 |
| [歴史・文化拠点] …… | 七宝産業会館・七宝郷土資料館一帯 |

②地域の暮らしに密着した拠点の形成

地域の暮らしに密着した身近な拠点の充実を図り、都市拠点と連携して、日常生活の利便性向上等に努めます。

●身近な生活拠点

地域南部の幹線道路交差点一帯では、その交通利便性をもとに商業集積等を誘導し、身近な生活拠点として育成します。

●身近な交流拠点

教育施設の開放や、公民館等の環境改善、公園や社寺のオープンスペースの活用等により、身近な交流拠点を育成していきます。

[教育施設] …… 4つの小学校（美和東小学校 等）、2つの中学校（美和中学校 等）

[公民館等] …… 17の公民館・集会所（木田公民館 等）、1つの生涯学習施設（美和歴史民俗資料館）、3つのコミュニティセンター・防災センター（篠田防災コミュニティセンター 等）

[公園等] …… 19の都市公園（木田郷西公園 等）、31のちびっ子広場（北苅ちびっ子広場 等）、2つの児童遊園（沖之島北児童遊園 等）、5つの体育施設（美和グラウンド 等）

[社寺] …… 45の社寺（菊泉院 等）

●身近な防災拠点

避難場所として指定されている15の施設（篠田防災コミュニティセンター、美和保健センター 等）や、その周辺の防災性を強化し、身近な防災拠点として活用を進めます。

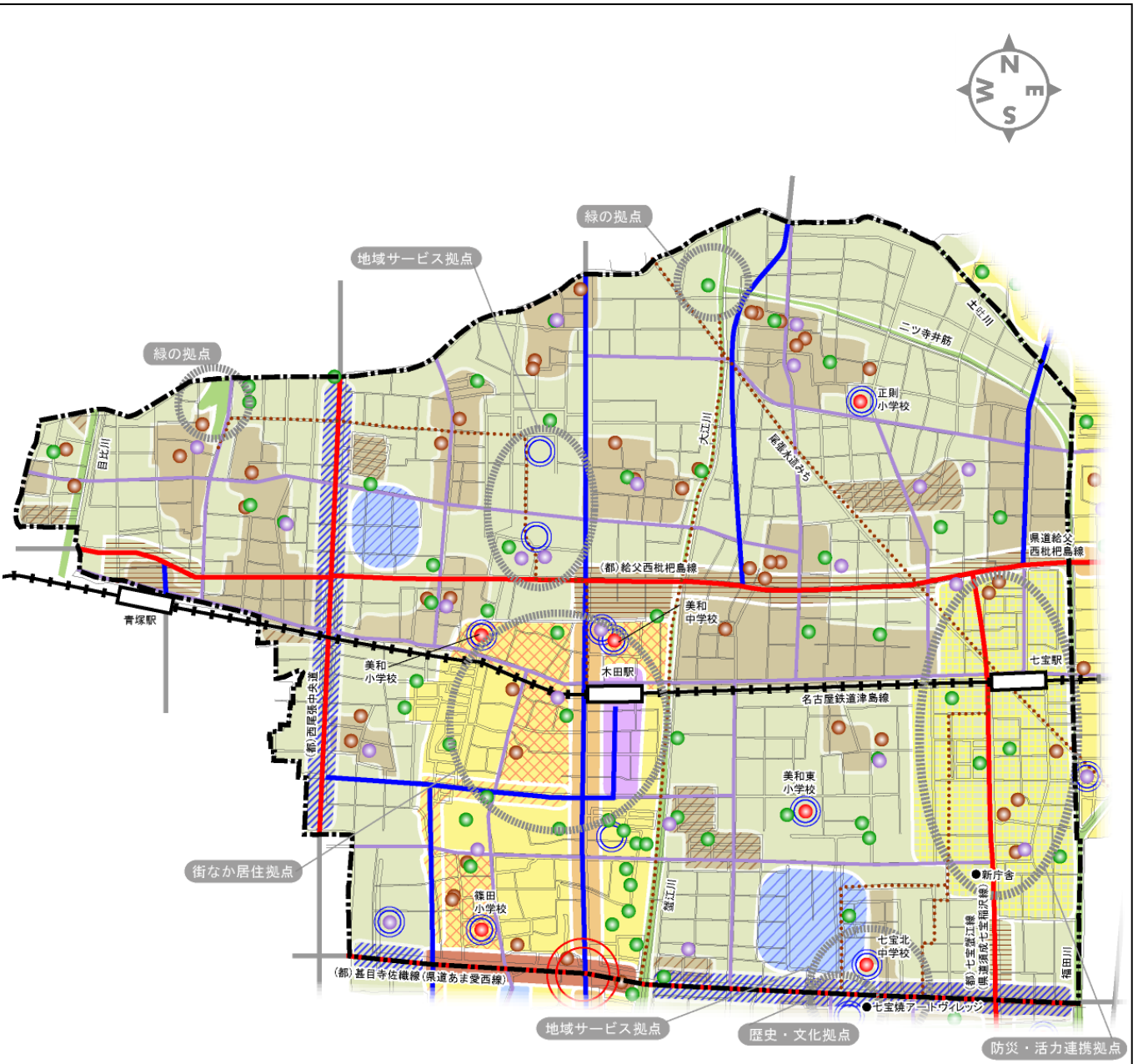
●その他（防災）

新庁舎は市の安全安心を支える「中枢防災拠点」として、大規模地震に対応した機能を備えます。

また、大規模地震に備えた密集市街地等における狭あい道路の拡幅整備を進めます。

なお、木田駅周辺では水害に対する安全性を高めるため、排水路や地下式調整池の整備を推進します。

《地域構造図》



地域別構想編

第8章 西部地域の地域づくり構想

凡 例			
	住宅地(教育施設周辺、低層)		都市圏・市の骨格を成す幹線道路
	〃(幹線道路沿道)		市街地・地域の骨格を成す幹線道路
	〃(その他)		主要な生活道路
	駅前商業地		主要な歩行者ネットワーク
	住商共存地		都市拠点 (街なか居住拠点、 防災・活力連携拠点、 地域サービス拠点、 緑の拠点、歴史・文化拠点)
	沿道複合利用地		身近な生活拠点
	居住環境維持・向上地		身近な交流拠点(教育施設)
	自然環境・レクリエーション地		〃(公民館等)
	既存工業地・産業誘導候補地		〃(公園等)
	産業誘導ゾーン		〃(社寺)
	農地		身近な防災拠点
	集落地(住宅団地)		〃(旧集落)
	〃(旧集落)		〃(旧集落)
	駅周辺、主要な幹線道路沿道等		

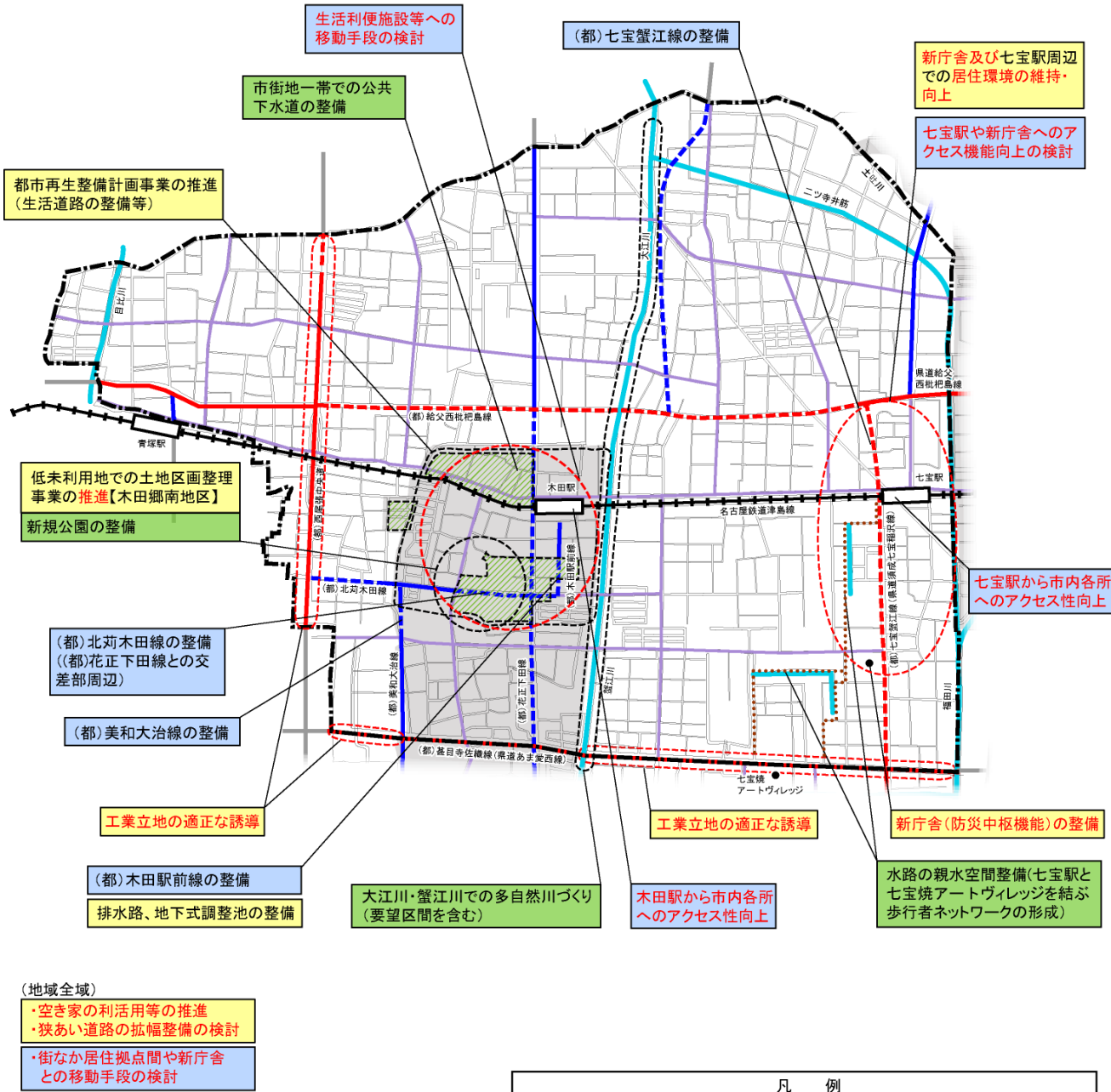
《重点施策》

今後、本地域では、地域の日常生活の利便性・快適性向上に大きく寄与するものを推進します。その考え方において、今後実施を予定する重点施策を以下に整理します。

施策分野	重点施策	内容
道路・交通	(都)七宝蟹江線の整備	・新庁舎及び七宝駅へのアクセス利便性を向上し、また、本地域と南部地域のネットワークの強化を図るため、未改良区間の整備を促進します。
	(都)木田駅前線の整備	・木田駅へのアクセス利便性の向上を図るため、自動車だけでなく、歩行者・自転車の利用にも十分留意して未改良区間の整備を推進します。
	(都)北苧木田線の整備	・地域の東西方向の交通円滑化や、市街地の骨格の形成を図るため、特に、(都)花正下田線との交差部周辺の未改良区間の整備を推進します。
	(都)美和大治線の整備	・地域の南北方向の交通円滑化や、市街地の骨格の形成を図るため、一部で残る未改良区間の整備を推進します。
	木田駅・七宝駅から市内各所へのアクセス性向上	・木田駅・七宝駅の更なる利便性向上とともに、市内各所へのアクセス性の向上を検討します。
	生活利便施設等への移動手段の検討	・高齢化の進展等を見据えて、木田駅周辺の生活利便施設等への移動手段の確保を検討します。
	街なか居住拠点間や新庁舎との移動手段の検討	・街なか居住拠点間の移動や新庁舎へのアクセスを支えるために、地域需要や地域特性に応じた適切な交通体系・手段を検討します。
	七宝駅や新庁舎へのアクセス機能向上の検討	・居住環境の維持向上に向けた駅アクセス機能の強化や県道の鉄道交差部のあり方及び駅から新庁舎へのアクセス経路を検討します。
水・緑	市街地一帯での公共下水道の整備	・大江川・蟹江川等の公共用水域の水質保全や、居住環境の改善を図るため、市街地を中心に、公共下水道の整備を推進します。
	大江川・蟹江川での多自然川づくり	・大江川・蟹江川で、河川改修を予定する区間では、自然環境の保全・復元に配慮した多自然川づくりを促進します。 ・市街地環境の向上を図るため、河川改修を予定しない区間についても、県に要望していきます。

施策分野	重点施策	内容
	水路の親水空間整備	<ul style="list-style-type: none"> ・沖之島地区の水路は、親水性に配慮した整備を図ります。 ・あわせて、水路管理用道路の整備により、地域分断を解消するとともに、七宝駅と七宝焼アートヴィレッジを結ぶ散策路や憩いの空間として活用を図ります。
	新規公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・木田郷南地区では、緑のある快適な住宅地の形成を図るため、土地区画整理事業にあわせた新規公園の整備を推進します。
その他	都市再生整備計画事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・木田駅周辺では、街なか居住拠点としての機能を強化するため、都市再生整備計画事業等による安全性・利便性の高い生活道路の整備等を推進します。
	排水路、地下式調整池の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・木田駅周辺では、水害に対する安全性を高めるため、(都)木田駅前線の整備にあわせ、排水路や地下式調整池の整備を推進します。
	低未利用地での土地区画整理事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・木田郷南地区では、都市基盤が未熟なまま宅地化が進むことを防止し、街なか居住拠点としてもふさわしい良好な住宅地の形成を図るため、土地区画整理事業による地区整備を推進します。 ・地区整備にあたっては、(都)北苅木田線の整備との連携にも配慮します。
	新庁舎及び七宝駅周辺での居住環境の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎及び七宝駅周辺では、恵まれた交通環境を活かした都市基盤の整備について検討を進め、居住環境の維持・向上を図ります。
	工業立地の適正な誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・産業誘導ゾーンへの工業立地の適正な誘導を検討します。
	狭あい道路の拡幅整備の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震に伴う建物倒壊等による避難経路の閉塞が懸念されることから、狭あい道路の拡幅整備を検討します。
	空き家の利活用等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利活用等を推進し、土地利用の流動化を図ります。
	新庁舎（防災中枢機能）の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・活力連携拠点内で防災中枢機能を担う新庁舎の整備を推進します。

《重点施策図》

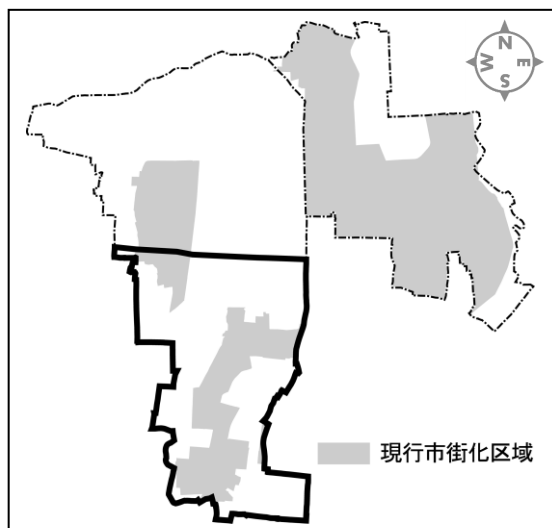


- (地域全域)
- ・空き家の活用等の推進
 - ・狭い道路の拡幅整備の検討
 - ・街なか居住拠点間や新庁舎との移動手段の検討

凡 例			
	都市圏・市の骨格を成す幹線道路		道路・交通に関する重点施策
	〃 (都市計画道路の未改良区間)		水・緑に関する重点施策
	市街地・地域の骨格を成す幹線道路		その他の重点施策
	〃 (都市計画道路の未改良区間)		
	主要な生活道路		
	主要な河川・水路		
	公共下水道の整備予定区域		
	市街地		

第9章 南部地域の地域づくり構想

9-1 地域の概況



区分	面積 (ha)	H27 人口 (人)
地域全体	837	23,411
市街化区域	275	16,560
市街化調整区域	562	6,851

資料：平成 27 年国勢調査等

南部地域を構成する区
七宝町沖之島（一部）、七宝町遠島（一部）、七宝町安松、七宝町秋竹、七宝町桂、七宝町下田、七宝町川部、七宝町伊福、七宝町下之森、七宝町徳実、七宝町鷹居、七宝町鯉橋、篠田（一部）、小橋方、乙之子

《地域の現状》

- 道路網は、南北方向として県道須成七宝稲沢線等が、東西方向として県道名古屋津島線や県道津島七宝名古屋線等が骨格を形成しており、県道名古屋津島線については、バイパス路線の整備が進められています。
- 他地域と異なり、鉄道は通っていませんが、名古屋駅等に連絡する路線バスが県道名古屋津島線等に沿って通っています。
- 恵まれた地勢のもと農業を中心に発展してきた地域です。現在も、地域の広範囲で優良農地が広がり、水菜、みぶな等の農業生産が活発に行われています。
- 江戸末期から伝わる伝統工芸“七宝焼”の発祥の地として知られており、七宝焼による工芸品の製造を行う工房が地域各所でみられます。地域には、七宝焼アートヴィレッジが位置し、伝統産業としての継承や、観光資源としての活用が図られています。
- 幹線道路沿道を軸に、地域中央部等で市街地が形成されています。特に、県道名古屋津島線沿道・周辺では多くの公共施設や商業施設が位置し、地域の中心地となっています。
- 蟹江川、福田川、小切戸等の河川・水路が流れ、地域に潤いを与えています。一部では、水仙の植栽など、良好な景観形成の取り組みもみられます。
- 都市計画施設としては、都市計画道路が 11 路線あり、そのうち 2 路線が全区間改良済となっています。都市計画公園は 3 箇所あり、すべて整備済となっています。公共下水道

については、市街地の一部（中南部）で整備済となっています。

《地域住民の意向》

[現在のまちづくりについて]

不満度 上位5つ	
1	商店街の活性化などの商業の振興
2	公園・緑地の整備
3	企業誘致などの産業の振興
4	駅前などの拠点整備
5	下水道・排水路の整備

[今後のまちづくりについて]

重要度 上位5つ	
1	地震や水害などの防災対策
2	下水道・排水路の整備
3	鉄道やバスなどの公共交通機関
4	交通安全・防犯などの安全対策
5	企業誘致などの産業の振興

資料：H28 住民意向調査による問10・問11の結果

注：七宝地区居住者の回答結果

《地域づくりの主要課題》

- 新しい東西交通軸としての（都）名古屋津島線の整備や、これと連動した新たな都市的土地利用の誘導（地域の中心地としての機能強化）
- 市街地を縦貫する（都）遠島桂線や、西部地域・七宝駅に連絡する（都）七宝蟹江線など、地域の日常生活等を支える都市計画道路の整備
- バス利用の利便性向上
- 都市計画道路沿道での日常生活等を支える土地利用の促進
- 地場産業環境とも調和した良好な住環境の保全・形成
- 秋竹地区等に広がる低未利用地を活かした新たな住宅地の形成
- 市街地内を流れる小切戸川等の環境の保全・向上
- 市街地周辺に広がり、良好な住環境や景観を支えている優良農地の保全
- 伝統産業など、地域の歴史・文化的資源の保全と、まちづくりへの活用
- 地域住民の安全や交流を支える環境（歩行環境、公園等）の充実
- 下水道の整備

9-2 地域づくり構想

1. 地域づくりの目標

水と緑が息づく古き伝統が醸し出す住み続けたいまちづくり

《基本方向》

- 営農環境と調和した美しく活力ある地域の形成
- 新たな東西交通軸や、これを活かした利便性の高い住環境の形成
- 地域資源（七宝焼、小切戸川等）を活かした多様な交流空間の形成



優良農地



七宝焼アートヴィレッジ



県道名古屋津島線バイパス



親水空間（小切戸川）



あま七宝三角柏田土地区画整理事業

2. 期間前半の地域づくりの評価と後半の地域づくりの重点

中間見直しにおける期間前半の地域づくりの評価と後半の地域づくりの重点を以下に整理します。

南部地域づくりの基本方向である「新たな東西交通軸や、これを活かした利便性の高い住環境の形成」に向けて、名古屋津島線バイパスの整備など期間前半に取り組んできた施策の実施効果により、七宝庁舎北交差点周辺の街なか居住拠点内の名鉄バス沿線では、都市機能の維持のための人口密度が保たれています。

- 名古屋駅とを結ぶ2本のバス路線など東西交通軸が充実しており、その利便性から良好な住環境の形成が図られてきている一方で、七宝庁舎北交差点付近では、通過交通等による交通渋滞が発生し、その解消が大きな課題となっています。
- 前半期の人口動態からは、若干の人口減少の傾向が見受けられることから、今後は、バスの強みを活かした東西交通軸の機能強化を図るなど、交通指向型まちづくりを検討します。
- 津波浸水の可能性が指摘されている南部地域では、河川整備の促進とともに、建物構造による対応やその他のソフト対策の検討を行うなど、地域住民の安全確保を図るための取り組みを進める必要があります。

3. 地域づくりの方針

地域づくりの目標の実現に向け、次のような地域の構造（土地利用、道路・交通、拠点）づくりと、重点施策に取り組みます。

《地域構造 （土地利用）》

①市街地での計画的な土地利用

地域中央部や地域北西部の一角を市街地として位置づけます。市街地では、幹線道路沿道を中心に商・工業系の土地利用を展開しながら、住宅地としての良好な環境の保全・充実を図ります。また、空き家の利活用等を推進し、土地利用の流動化を図ります。

- 住商共存地…(都)花正下田線、県道名古屋津島線の沿道
集合住宅を含む多様な住宅と、周辺居住者の日常生活を支える利便施設が共存する土地利用を図ります。
- 沿道複合利用地…(都)名古屋津島線の沿道
車利用に対応したロードサイド型の商業施設や、流通・業務施設等が立地する非住居系を基本とした土地利用を図ります。
- 工業地…工業系市街化区域を中心とした地区（2箇所）
周辺の住宅地等との調和にも留意しながら、工場、流通・業務施設等による専用性の高い工業地としての土地利用を図ります。また、一部で住工混在が見られるため、共存環境の形成に努めます。
- 住宅地…住居系市街化区域を中心とした地区（上記以外）
戸建てによる低層、低中層の住宅地としての利用を基本としながら、身近な商業施設や教育施設、福祉施設等の生活利便施設も必要に応じて立地する土地利用を図ります。
 - ※秋竹小学校等の教育施設周辺や、低層住居専用地域の指定地区では、用途の混在を抑制し、落ち着いた雰囲気の良い居住環境、教育環境の保全を図ります。
 - ※(都)遠島桂線等の市街地の骨格を成す幹線道路、バス路線としての幹線道路の沿道では、住宅を主としながら、小規模店舗等が必要に応じて立地する土地利用を図ります。

●街なか居住拠点・・・七宝庁舎北交差点周辺（バス停の徒歩圏）

バスの強みを活かした交通まちづくりとして、中高層を含む集合住宅の立地や、生活利便施設の一層の集積を誘導するなど、より多くの人々が高度で多様な都市サービスを楽しみ、また、歩いて暮らせるまちづくりにも寄与する土地利用を図ります。

②市街地外での計画的な土地利用

優良農地の保全や、既存集落での良好な住環境の保全を図りながら、交通利便性の高い場所を有効に活かした土地利用を進めます。

●既存工業地・産業誘導候補地・・・(都)花正下田線と県道名古屋津島線の交差部一帯、名古屋西 IC 周辺

(都)花正下田線と県道名古屋津島線の交差部一帯に位置する既存工業地では、周辺環境と調和した土地利用を図ります。また、名古屋西 IC 周辺を中心として、工場や流通・業務施設の新規集積の誘導を検討します。

●産業誘導ゾーン・・・県道名古屋蟹江弥富線の沿道

市街化調整区域としての性格や円滑な交通流動に及ぼす影響等を十分考慮しながら、工場や流通・業務施設の立地の計画的で適正な誘導を図ります。なお、この誘導にあたっては、優良な農地等の保全に配慮するとともに、開発基盤が整った箇所等に限るものとします。

●農地・・・農振農用地区域を中心とした地区

農業生産や治水、景観等を支える農地の保全を図ります。

●集落地・・・既存集落を中心とした地区

周辺農地との調和にも留意しながら、低層を基本とした良好な住環境を保全する土地利用を図ります。

※住宅団地（秋竹東住宅 等）では、整然とした良好な住環境を保全します。

※その他の旧集落では、七宝焼の地場産業環境と共存し、農地や社寺（遠島八幡神社 等）と一体となり景観的にも優れた良好な住環境を保全します。

●主要な幹線道路沿道等・・・(都)七宝蟹江線等の沿道

市街化調整区域としての性格を十分考慮しつつ、必要に応じて、工場や流通・業務施設等が立地する土地利用を検討します。

- 自然環境・レクリエーション地・・・蟹江川・福田川・小切戸川・大切戸
幹線水路周辺 ※一部、市街地内
貴重な緑地空間として保全を図るとともに、地域住民の憩いや、
環境教育、健康増進等に寄与する場として有効活用を図ります。

《地域構造 (道路・交通)》

①幹線道路等の整備

都市圏・市の骨格を成す幹線道路や、これに接続する地域のための幹線道路の整備を図り、街なか居住拠点（七宝庁舎北交差点周辺）や防災・活力連携拠点等にアクセスしやすい利便性の高い道路網を形成します。

また、バス路線の混雑解消に向けて、(都)名古屋津島線の早期整備の促進を図ります。

これらの幹線道路に囲まれた区域においては、生活道路の整備を進めるとともに、高齢化の進展等を見据えた移動手段の確保の検討を進め、地域住民の誰もが生活活動において困ることのないような交通環境の整備を進めます。

- 都市圏・市の骨格を成す幹線道路 [主要幹線道路、都市幹線道路]
(都)名古屋津島線、(都)甚目寺佐織線、(都)七宝蟹江線、(都)津島七宝名古屋線
- 市街地または地域の骨格を成す幹線道路 [地区幹線道路等]
(都)花正下田線、(都)美和大治線、(都)安松鷹居線、(都)遠島桂線、(都)千音寺線、(都)鷹伊線、(都)新家戸田線、県道名古屋津島線、県道名古屋蟹江弥富線、県道須成七宝稻沢線
- 主要な生活道路
上記以外の県道、1級市道及びその他主要な市道

②歩行者ネットワークの形成

都市計画道路や河川・水路の整備等とも連携しながら、歩行空間の充実を図り、安全・快適な歩行者ネットワークを形成します。

- 主要な歩行者ネットワーク
 - ・市街地内を流れる小切戸川沿いのネットワーク
 - ・七宝焼ゆかりの地（七宝焼アートヴィレッジ、遠島集落等）を結ぶネットワーク
 - ・その他（あま市七宝庁舎前バス停等の主要バス停とその徒歩圏・自転車圏を結ぶネットワーク、通学路ネットワーク等）

《地域構造(拠点)》 ①都市拠点の形成

都市拠点については、地域の日常生活等を支える中心的な場として活用を図るべく、全体構想編に基づき、機能充実を図ります。

- [街なか居住拠点] …… 七宝庁舎北交差点周辺
- [地域サービス拠点] …… 七宝公民館・七宝児童館一帯、七宝総合体育館・七宝総合福祉センター一帯
- [歴史・文化拠点] …… 七宝焼アートヴィレッジ一帯

②地域の暮らしに密着した拠点の形成

地域の暮らしに密着した身近な拠点の充実を図り、都市拠点と連携して、日常生活の利便性向上等に努めます。

●身近な生活拠点

地域北西部及び南部の幹線道路交差点一帯では、その交通利便性をもとに商業集積等を誘導し、身近な生活拠点として育成します。

●身近な交流拠点

教育施設の開放や、公民館等の環境改善、公園や社寺のオープンスペースの活用等により、身近な交流拠点を育成していきます。

- [教育施設] …… 4つの小学校(七宝小学校等)、1つの中学校(七宝中学校)、1つの高等学校(美和高等学校)
- [公民館等] …… 12の公民館・集会所(桂公民館等)
- [公園等] …… 4つの都市公園(稲荷公園等)、20のちびっ子広場(小橋方第1ちびっ子広場等)、9つの児童遊園(遠島宮西児童遊園等)、5つの体育施設(七宝グラウンド等)
- [社寺] …… 36の社寺(藤島神社等)

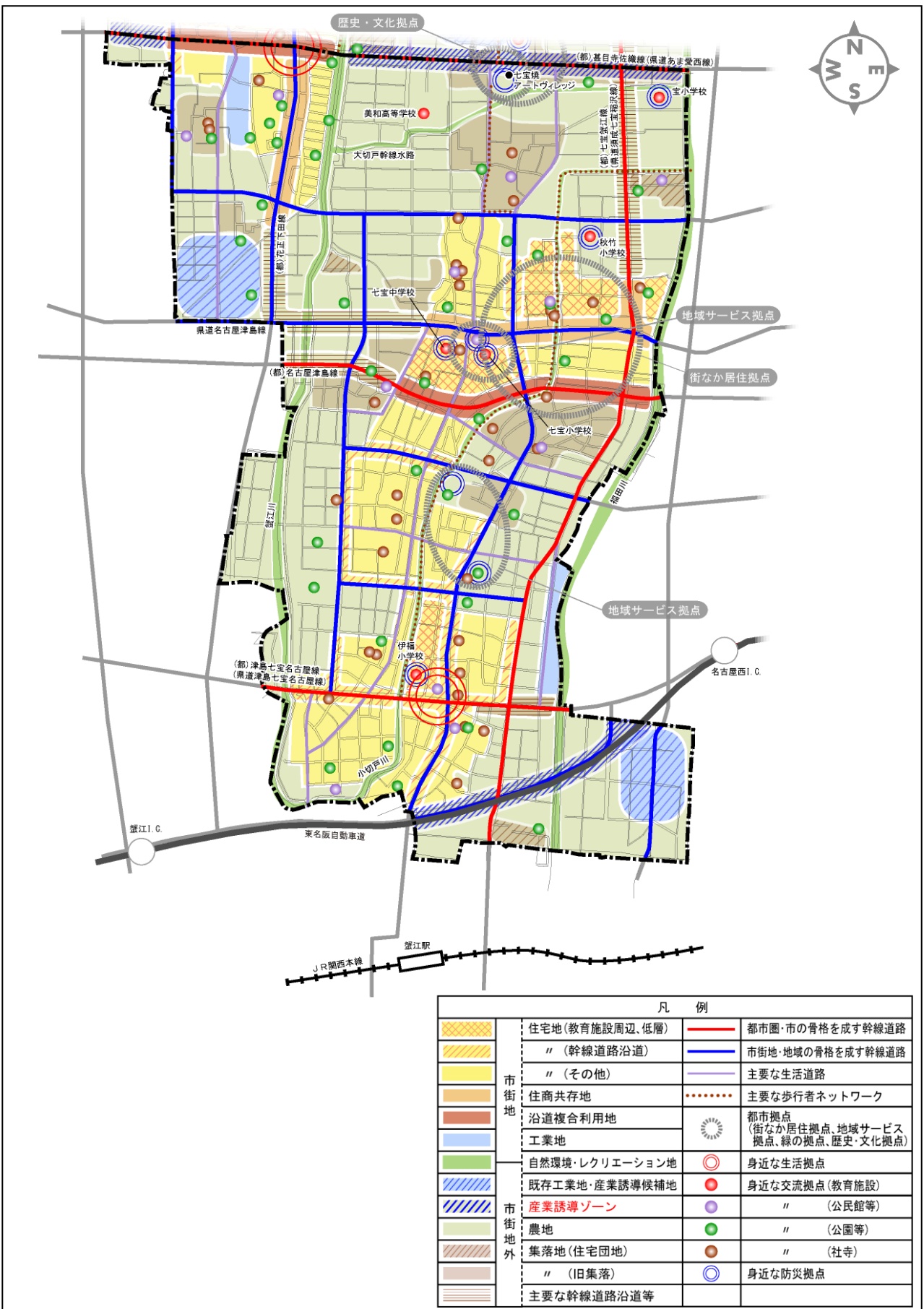
●身近な防災拠点

避難場所として指定されている9つの施設(七宝焼アートヴィレッジ、七宝保健センター等)や、その周辺の防災性を強化し、身近な防災拠点として活用を進めます。

●その他（防災）

大規模地震に備えた密集市街地等における狭あい道路の拡幅整備を進めます。また、津波浸水の可能性が指摘される地域では、河川整備の促進とともに、防災対策（ソフト）の取り組みを検討します。

《地域構造図》



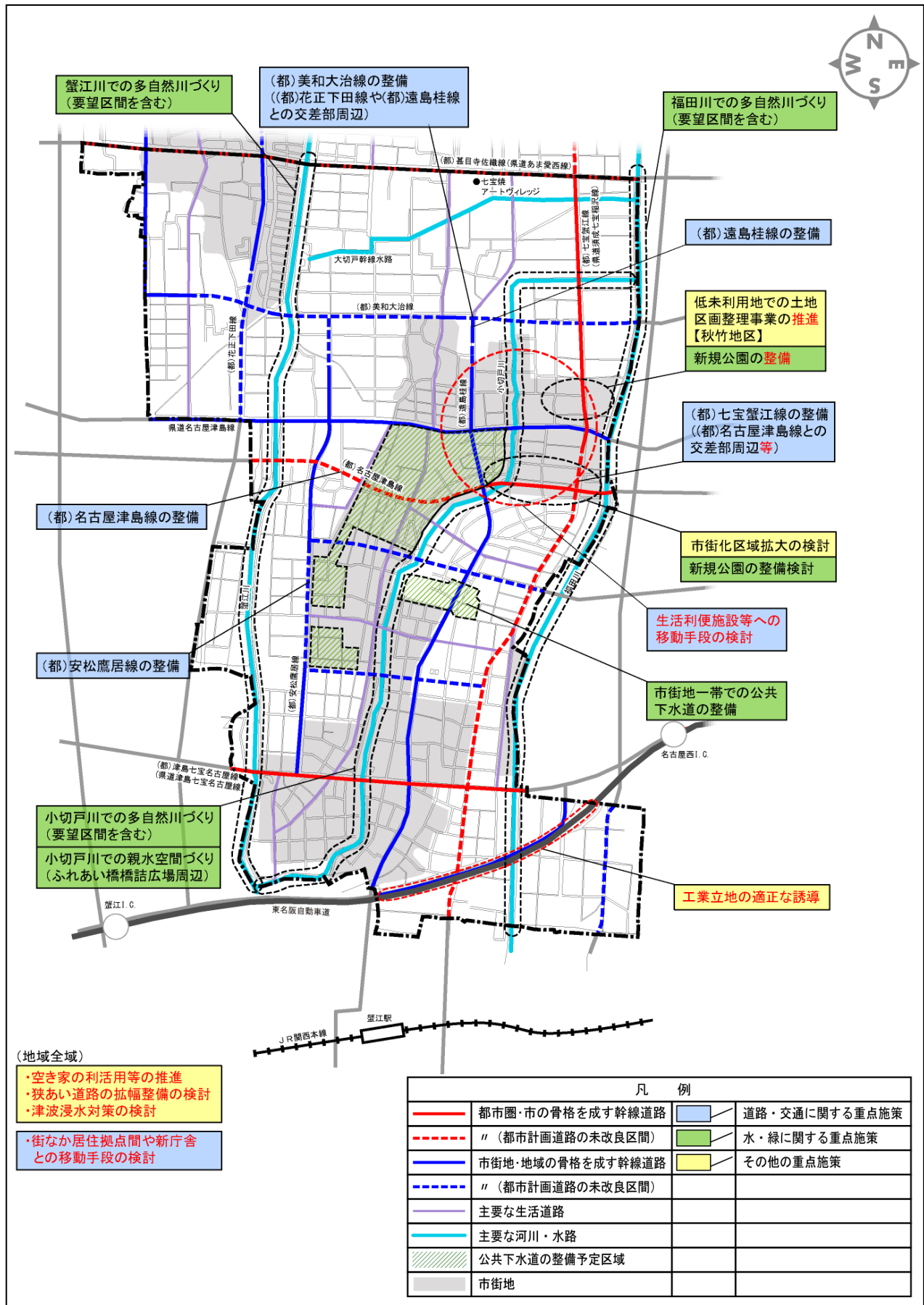
《重点施策》

今後、本地域では、地域の日常生活の利便性・快適性向上に大きく寄与するものを推進します。その考え方において、今後実施を予定する重点施策を以下に整理します。

施策分野	重点施策	内容
道路・交通	(都) 名古屋津島線の整備	・名古屋市や津島市へのアクセス利便性の向上を図るため、七宝庁舎南交差点以西の未改良区間の早期整備を促進します。
	(都) 七宝蟹江線の整備	・新庁舎及び七宝駅・蟹江駅へのアクセスなど南北方向の利便性の向上を図るため、(都) 名古屋津島線との交差点部周辺等の未改良区間の整備を促進します。
	(都) 遠島桂線の整備	・地域の南北方向の交通円滑化を図るため、一部で残る未改良区間の整備を推進します。
	(都) 美和大治線の整備	・地域の東西方向の交通円滑化や、西部地域へのアクセス利便性の向上を図るため、特に、(都) 遠島桂線や(都) 花正下田線との交差点部周辺の未改良区間の整備を推進します。
	(都) 安松鷹居線の整備	・地域の南北方向の交通円滑化や(都) 名古屋津島線の整備を見据えて、未改良区間の整備を推進します。
	生活利便施設等への移動手段の検討	・高齢化の進展等を見据えて、七宝庁舎北交差点周辺の生活利便施設等への移動手段の確保を検討します。
	街なか居住拠点間や新庁舎との移動手段の検討	・街なか居住拠点間の移動や新庁舎へのアクセスを支えるために、地域需要や地域特性に応じた適切な交通体系・手段を検討します。
水・緑	市街地一帯での公共下水道の整備	・小切戸川等の公共用水域の水質保全や、居住環境の改善を図るため、市街地を中心に、公共下水道の整備を推進します。
	小切戸川、蟹江川、福田川での多自然川づくり	・小切戸川、蟹江川、福田川で、河川改修を予定する区間では、自然環境の保全・復元に配慮した多自然川づくりを促進します。 ・市街地環境の向上を図るため、河川改修を予定しない区間についても、県に要望していきます。
	小切戸川での親水空間づくり	・小切戸川では、整備済のふれあい橋橋詰広場周辺を中心として、川辺の散策路など、連続性のある親水空間づくりを促進します。
	新規公園の整備検討・整備	・七宝庁舎南東部では、街なか居住拠点・地域サービス拠点としての機能を強化し、地域の防災性も高めるため、市街化区域編入にあわせた新規公園の整備を検討します。 ・秋竹地区では、緑のある快適な住宅地の形成を図るため、土地区画整理事業にあわせた新規公園の整備を推進します。

施策分野	重点施策	内 容
その他	低未利用地での土地区画整理事業の 推進	・秋竹地区では、都市基盤が未熟なまま宅地化が進むことを防止し、街なか居住拠点としてもふさわしい良好な住宅地の形成を図るため、土地区画整理事業による地区整備を 推進 します。
	市街化区域拡大の検討	・七宝庁舎南東部では、（都）名古屋津島線沿道の土地の有効利用を図り、街なか居住拠点としての機能を強化するため、市街化区域への編入を検討します。 また、バスの強みを活かした交通まちづくりを検討します。
	工業立地の適正な誘導	・産業誘導ゾーンへの工業立地の適正な誘導を検討します。
	狭あい道路の拡幅整備の検討	・大規模地震に伴う建物倒壊等による避難経路の閉塞が懸念されることから、狭あい道路の拡幅整備を検討します。
	空き家の利活用等の推進	・空き家の利活用等を推進し、土地利用の流動化を図ります。
	津波浸水対策の検討	・津波浸水想定区域における建物構造等の開発指導の強化、情報伝達・避難といった防災対策（ソフト）等を検討します。

《重点施策図》



- (地域全域)
- 空き家の利活用等の推進
 - 狭あい道路の拡幅整備の検討
 - 津波浸水対策の検討
- 街なか居住拠点間や新庁舎との移動手段の検討

凡 例			
	都市圏・市の骨格を成す幹線道路		道路・交通に関する重点施策
	〃 (都市計画道路の未改良区間)		水・緑に関する重点施策
	市街地・地域の骨格を成す幹線道路		その他の重点施策
	〃 (都市計画道路の未改良区間)		
	主要な生活道路		
	主要な河川・水路		
	公共下水道の整備予定区域		
	市街地		

